

決 算 報 告 書

第 20 期

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

抗菌美装株式会社

長野県飯田市中村 1 7 5 8 - 2

貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		買掛金	4,461,766
現金	100,000	未払金	319,898
小口現金	170,431	未払金(ネットポイント)	4,576,905
普通預金 ジェット銀行	2,301,791	預り金(源泉所得税)	23,605
普通預金 みなみ信州農協	82,902	預り金(住民税)	75,900
普通預金 飯田信金 伊賀良	1,182,719	未払法人税等	71,000
普通預金 八十二銀行	580,178	未払消費税	847,800
普通預金 八十二銀行(ネット)	295,052	流動負債計	10,376,874
普通預金 長野県信用組合	633,509	【固定負債】	
普通預金 アルプス中央信用金庫	389,660	長期借入金(鈴木詠里子)	8,429,290
普通預金 長野銀行	368,655	長期借入金(鈴木健太郎)	5,400,000
普通預金 郵便局	304,855	長期借入金(八十二銀行)	1,000,000
定期積金 八十二銀行	430,448	長期借入金(長野県信用組合)	7,564,000
定期積金 長野県信用組合	580,000	長期借入金(日本政策金融公庫)	7,864,000
現金・預金計	7,420,200	固定負債計	30,257,290
(売上債権)		負債の部合計	40,634,164
受取手形	500,000	資 本 の 部	
売掛金	7,476,049	【資本金】	
売上債権計	7,976,049	資本金	10,000,000
(棚卸資産)		資本金計	10,000,000
商品	1,197,495	【剰余金(欠損金)】	
棚卸資産計	1,197,495	当期末処分利益	△766,831
(その他流動資産)		(うち当期利益)	△1,446,113
立替金	1,573,239	剰余金計	△766,831
その他流動資産計	1,573,239	資本の部合計	9,233,169
流動資産合計	18,166,983		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	7,676,231		
建物付属設備	660,214		
車両運搬具	6,908,998		
工具器具備品	2,516,872		
土地	10,033,178		
リサイクル預託金(車両)	30,050		
有形固定資産計	27,825,543		
(投資等)			
保険積立金	3,874,807		
投資等計	3,874,807		
固定資産合計	31,700,350		
資産の部合計	49,867,333	負債・資本の部合計	49,867,333

有形固定資産の減価償却累計	0 受取手形割引高	0
手形裏書譲渡高	0 保証債務	0

損 益 計 算 書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

(単位：円)

《経常損益の部》

[営業損益の部]		
【売上高】		
抗菌・美装売上	37,310,026	
南信州.com売上	1,539,574	
ネット売上	25,541,017	
保険売上	115,632	
売上高 計		64,506,249
【売上原価】		
期首商品棚卸高	2,257,155	
期首商品・製品棚卸高	2,257,155	
抗菌・美装仕入	14,761,893	
南信州.com仕入	37,777	
ネット仕入	12,012,873	
当期商品仕入高	26,812,543	
合 計	29,069,698	
期末商品棚卸高	△1,197,495	
期末商品・製品棚卸高	△1,197,495	
売上原価 計		27,872,203
売上総利益		36,634,046
【販売費一般管理費】		
販売費・一般管理費計	51,207,710	
営業利益		△14,573,664
[営業外損益の部]		
【営業外収益】		
受取 利息	81	
受取配当金	30	
受取 家賃	12,968,256	
雑 収 入	539,426	
営業外収益 計	13,507,793	
【営業外費用】		
支払 利息	309,233	
営業外費用 計	309,233	
経常利益		△1,375,104
《特別損益の部》		
【特別利益】		
特別利益 計	0	
【特別損失】		
固定資産除却損	9	
特別損失 計	9	
税引前当期利益(損失)		△1,375,113
法人税及び住民税		71,000
当期 利益 (損失)		△1,446,113
前期繰越利益(損失)		679,282

販売費及び一般管理費内訳書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

(単位：円)

給料 手当	15,369,972
役員 報酬	3,000,000
法定福利費	2,226,259
福利厚生費	2,021,704
通 信 費	990,568
荷造 運賃	158,138
水道光熱費	2,719,589
旅費交通費	597,980
広告宣伝費	473,360
接待交際費	163,296
事務用消耗品費	81,132
備品消耗品費	3,392,629
研究開発費	16,731
新聞図書費	95,075
研修費	248,089
修 繕 費	1,342,934
地代 家賃	3,610,000
車両燃料費	1,156,453
車両費	425,724
保 險 料	2,925,635
倒産防止共済金	2,400,000
租税 公課	1,056,562
諸 会 費	288,152
リース 料	87,963
支払手数料	21,472
顧問料	322,897
減価償却費	5,429,488
管理諸費	288,000
雑 費	297,908
販売費・一般管理費計	51,207,710

個 別 注 記 表

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産：最終仕入原価法 有価証券：移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

建物：定額法 その他の有形固定資産：定率法 無形固定資産：定額法

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金の計上基準：法人税法の規定による法定繰入率

4. 収益及び費用の計上基準

収益：実現主義 費用：発生主義

5. 消費税及地方消費税に相当する額の会計処理の方法

税抜処理

6. その他貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表作成のための基本となる重要な事項

該当なし

III. 貸借対照表に関する注記

減価償却累計額

18,268,305円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 200 株

2. 事業年度末日における自己株式の種類及び数

該当なし

3. 剰余金の配当

該当なし

4. 事業年度末において発行している新株予約権の目的となる株式

該当なし

V. 重要な後発事象に関する注記

該当なし

上記の通りご報告申し上げます。

令和 1 年 5 月 24 日

抗菌美装 株式会社

代表取締役

鈴木 詠里子

平成 31 年 5 月末日
(令和元年 5 月末日)

各従業員
お取引先の皆様へ

平成 31 年 3 月期 (第 20 期) 決算のご報告

抗菌美装株式会社
代表取締役 鈴木詠里子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙の通り、第 20 期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■損害保険代理店業務を辞める。

ベテラン女性従業員と鈴木健太郎の 2 名で、従業員の契約を主体として損害保険業務を行ってきたが、平成 30 年 6 月をもって事業を辞め、契約を信頼のおける代理店に移管した。これは年間粗利益 30 万円だが、煩雑かつ急ぎの契約・解約が、ベテラン従業員（温泉の素の営業と兼務）と鈴木健太郎（温泉の素.com 社長、抗菌美装メンテナンス総責任者、その他役員）の業務を遅らせることがあったため、各々の事業に特化した方が会社の業績に貢献できると考えたからである。抗菌美装と温泉の素.com の分社後、2 社とも順調に業績を重ねてきたが、今後のそれぞれの企業成長を考えれば、信頼のおける代理店に任せることで、それぞれの企業をさらに成長させることができるものと思い、損害保険代理店業務を辞めることにした。

辞めるにあたっては、代理店業務なので特に出費はなかった。引継ぎ等の人件費（固定費）がかかったくらいである。

■設備投資

キャンピングカーの取得。キャンピングカーは、温泉施設の夜間清掃時の仮眠室として（僻地の温泉施設への出張時や福利厚生にも使用できる）、軽トラは単なる買換え、印刷機 2 台は、ネット商品の商品ラベル印刷用として、蛍光 X 線分析装置は異物分析や自社の浴槽循環時の濁り調査分析として設備投資したものである。

キャンピングカーが必要なのかという議論もあったが、例えば毎年 2 月に作業する恵那市のホテル循環器洗浄では、メンテナンス 3 人以外に女性スタッフ 4 名程度を夜通し業務させなければならない。（夕方 5 時に薬品を入れ翌朝 9 時頃作業終了） これまでは、脱衣場や通路にて、シュラフを用い仮眠等させていたが、さすがに時代背景の中で、これでは人が辞めてしまう、毎年行ってくれなくなるなどの状況となっていた。冷暖房の効く寝台があり、夜食朝食が準備できる環境を整備しようとする、結果的にキャンピングカーを用意するという事になったものである。平成 31 年 2 月に使用した際は、とても快適であった。

その他、軽トラやコピー機の更新、中古ラベル印刷機の取得。中古蛍光 X 線分析装置の取得

■倒産防止共済への加入

240 万円を支払った。

■棚卸し在庫の思い切った処分

■損益計算書 合計売上 6450 万円 (+156 万円=102.5%)

【抗菌売上】売上 3731 万円 (-31 万円=99.2%)

内訳：メンテナンス契約 1887 万 (-81 万円)、単発清掃 107 万円 (-25 万円)、工事衛生 1046 万円 (+117 万円)、塩素等販売 689 万円 (-43 万円)。

【地域貢献事業売上】売上 153 万円 (-32 万円=82.7%)

地域情報サイト「南信州.com」として 12 期目である。

正直に申し上げ厳しい。大きな成長の見込みはない。継続あるのみ。

長年、南信州.com に携わった功労者が退職し、元代表者が兼務し担当することになった。

人件費がかからなくなったので、黒字化はした。

【ネット販売部門】 2554 万円 (+240 万円=110.4%)

塩素.jp 2025 万円 (+246 万円)

温泉の素.com 516 万円 (+80 万円)

入浴剤.net 11 万円 (+11 万円) (30 年 6 月より開店)

特産物市場 0 万円 (-93 万円)

小分け.com 0 万円 (-4 万円)

【損害保険売上】売上 11 万円 (-20 万円)

売上=代理店手数料である。仕入れはなく、売上げ=荒利益とみなしてよい。

平成 30 年 6 月をもって業務を辞めた。

【総論】

メンテナンス部門の売上げは安定している。

特産物市場と小分け.com を辞めたが、塩素.jp や温泉の素.com により、ネット部門が順調に伸びている。

赤字になった要因は、販管費の中で、①キャンピングカーはじめ設備投資による減価償却費の増加 (+323 万円)、②倒産防止共済への加入 (+240 万円)、③福利厚生費の伸び (+88 万円) が要因に上げられる。単純に言えば、利益が出そうなので設備投資したり、倒産防止に加入したら、ちょっとやり過ぎて赤になってしまった。ということである。

■貸借対照表

<資産の部>

【流動資産】1816万円（-271万円）

現金 742万円（-197万円）、受取手形 50万円（±0万円）、売掛金 747万円（+18万円）、商品 119万円（-105万円）、立替金 157万円（+73万円）、未収入金 0万円（-60万円）

受取手形は通常の取引（昨年同様2月の岐阜県恵那市のホテル浴槽循環器洗浄業務）。立替金は温泉の素.comに対する立替金である。これは抗菌美装機が20周年を迎え、令和元年6月に20周年記念旅行を予定している。温泉の素.comに従業員分の負担をお願いしたので、劇団四季の前売りチケット代などが含まれている。

この報告書作成時点では、受取手形、売掛金、立替金とも全額入金している。不良債権はない。

商品が半減しているが、在庫を思い切って処分したものである。もともと塩素剤（消毒剤）なので、腐敗しないので長期保管ができる。ネット販売の在庫として仕入れて長期保管していたが、あまり動かない商品は思い切って処分（メンテナンス時の自家使用）した。

【固定資産】3170万円（+750万円）

建物 767万円（-67万円）、車両運搬 690万円（+495万円）、工具器具備品 251万円（+251万円）、土地 1003万円（±0万円）建物付属設備 66万円（-17万円）、保険積立金 387万円（+87万円）、リサイクル預託金 3万円（+1万円）

固定資産が増加していますが、車両運搬具としてキャンピングカー820万円（新古車）、リフト付き軽トラ 91万円、工具器具備品としてコピー機、中古印刷機、オンデマンド印刷機、蛍光X線分析装置（中古）など、もろもろ 292万円の設備投資をおこなったからである。（平成31年1月～2月に取得）

<負債の部>

【流動負債】1037万円（-65万円）

買掛金 446万円（-84万円）、未払金 31万円（-45万円）、ネットポイント未払金 457万円（+43万円）、所得税・保険預り金 2万円（0万円）、未払法人税 7万円（-18万円）、未払消費税 84万円（+2万円）

※ネットポイント未払金は、インターネット販売した際に、お客様にポイント付加している残高を3月末日の総計で計上している。したがって、次回購入時にポイントを使った場合に値引きするものなので、負債であって、実質負債ではないと考えている。

【固定負債】 3025 万円 (+689 万円)

内訳：長期借入金 3025 万円 (+689 万円)

八十二銀行 100 (-60) + 長野県信用組合 756 (-244) + 日本政策金融公庫 786 (-256) + 社長借入 842 (+711) + 鈴木健太郎 540 (+540)。

キャンピングカーを取得する際に、社長と鈴木健太郎から合計 1000 万円借り入れた。

金融機関からの負債は予定通り返済している。(年 560 万円)

鈴木健太郎(社長の夫)からの借入は、短期借入として流動負債に計上すべきか思慮したが、慌てて返さなくて良いと本人から承諾を得ているので、長期負債とした。

<純資産の部>

【資本金】 1000 万円

増減なし。

【剰余金】 -76 万円 (-144 万円)

【貸借対照表の総論】

金融機関からの返済は予定通り順調に行っており、残りあと約 3 年ほどで返済が完了する予定である。

財務基盤では、

資産の部では、①保険積立金(生保 1/2 損金分)を解約すると 300 万程度の含み益が生まれること。

負債の部では、②ネットポイントが 457 万円計上されていること、③長期借入金のうち社長や鈴木健太郎からの借入が 1380 万計上されていること、④今年度からはじめた倒産防止共済 240 万円分(貸借対照表には乗ってこない)を任意解約すると 190 万円返戻されること。

以上のことから、とても安定している。と考えている。

■【来期 第21期の重点施策】

【売上面】

メンテナンス部門は横ばいである。トヨタ系列の保養所の保守契約が取れた。安全面での教育を続け、労災のない体制作りを進めていく。

小分け.com を辞めた。代わりに、入浴剤.net を立ち上げたが、少しずつ売上が伸びてきているので、SEOに取り組むとともに、商品アイテム数を伸ばしてゆきたい。塩素.jp のチラシを作成し、温泉の素.com の取引先に注文ごとに送付している。続けていきたい。
その他サイトも順調に売り上げている。

メンテナンス部門は観光業（旅館業、公衆浴場）を相手にしているので、消費税増税の影響を懸念している。観光業の落ち込みとともに多少の売上げ減が予想される。ただし、リーマンショック（2008年）、東日本大震災（2011年）、消費税5→8%（2014年）の時も、いずれも必要なメンテナンスというせいか、ほぼ当社は何も影響を受けなかった。

【財務面】

特に財務面での取り組みは無い。返済あるのみ。

【総括】

ネット部門を伸ばすのみ。